

四国生乳販連ニュース

四国四県の生産者と联合会をつなぐコミュニケーション紙

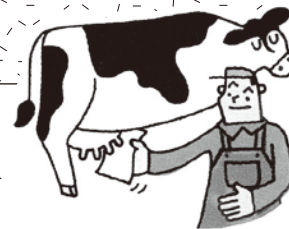
第27号

発行日／平成25年8月31日

発行所／四国生乳販売農業協同組合連合会

〒760-0023 香川県高松市寿町1丁目1番12号

編集・発行人／菊川 時彦



第13回通常総会

平成25年7月30日、香川県高松市アルファあなぶきホール5F玉藻において、農林水産省及び四国各県行政・全国連等多数の来賓ご臨席のもと、第13回通常総会を開催いたしました。山下会長の主催者挨拶の後、来賓を代表して、農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課 渡辺乳製品調整官、一般社団法人中央酪農会議 内橋事務局長よりご祝辞を頂戴いたしました。その後全国農業協同組合連合会高知県本部の土居県本部長が議長として選任され、議案の審議に入りました。

第1号議案「平成24年度事業報告及び剰余金処分案承認の件」(事業報告の概略・決算書は、次頁のとおり)、第2号議案「役員選任の件」、第3号議案「役員に対する退任慰労金支出並びに慰労積立金の取り崩しの件」及び附帯決議案について、原案どおり可決承認されました。

引き続き第3回理事会が開催され、新役員の体制が決定しました。本会代表理事会長に高知県酪農連合協議会の柳瀬一範顧問が、副会長理事に徳島県酪農業協同組合の原浅之組合長が選任されました。

柳瀬新会長 就任挨拶



四国は酪農家数・生産量共に少ない中、早期に乳価と集送乳経費の平準化を実現させてきた経緯があります。酪農家の減少に歯止めのかからない厳しい現状の中、手取り乳価の確保や一層の集送乳経費の合理化を図ってまいります。四国4県が1つとなるよう、相談しながら四国の酪農家の発展のために努力していきたいと思っておりますので、ご支援ご尽力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

山下前会長 退任挨拶



四国の酪農家の1円でも高い手取り乳価確保のため、2年間務めて参りました。至らないこともあったかと思っておりますが、ご支援いただき、誠にありがとうございました。酪農乳業界にとっては大変厳しい時期ではありますが、四国が一丸となって乗り切っていけるよう、今後とも販連運営にご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

～平成24年度事業報告の概要～

○生乳共販事業

生乳販売量は132,531トﾝ、取扱計画比98.2%、前年比97.7%。用途別販売の動向は、飲用向け（学乳向け含む）前年比99.2%、はっ酵乳等向け・69.3%、飲用等向け（飲用向け、学乳向け、はっ酵乳等向けの合計量）・前年比96.8%。特定乳製品向け（加工向け）は7,445トﾝ・99.2%、加工比率は、5.6%と前年度と同比率。その他、生クリーム向け・前年比187.7%、チーズ向け・127.4%と増加。

生乳販売高は、141億7,582万円、計画比99.1%、前年比97.8%、これに対する1kg当り販売単価（成分加算金含む）は106円96銭2厘。

○乳価・集送乳経費の平準化

四国の手取乳価（平均成分加算金1.26円/kg含む販連プール乳価－集送乳経費＝手取乳価）は、100円97銭/kg。完全平準化を開始した21年度実績と比較し、68銭/kgの上昇。22年度比・89銭/kgの上昇。

プール乳価は、106円96銭/kg（成分加算金含む）・前年比12銭の上昇。この要因は、①有利販売のため機動的に広域需給調整等を実施、②乳製品用途価格（生クリーム・チーズ・加工向け）の値上げ等によるもの。

四国全体の集送乳経費の実績は7億9,472万円、受託乳量当たり5円99銭/kgで約5銭/kgの上昇。この要因は、①1車当たりの運賃設定の地域での生産量減少に伴うkg単価の上昇、②広域需給調整実施による域外搬出量の増加等によるもの。

○生乳計画生産対策

四国の目標数量は中央からの配分を受けた、137,726トﾝ・前年実績比101.6%の設定とし、空枠の発生を極力防止するため、会員別には過去の生産動向も考慮した配分を実施。

しかし、四国の生産基盤の脆弱化に歯止めがかからず、初妊牛価格の高止まり等により、実績は132,381トﾝ・前年比97.7%と、目標数量に対して約5,300トﾝの未達。

○生乳検査業務

平成24年度の検査料金は、従来と同様、配分検査26銭/kg、牛群検定95円/検体、依頼検査95円/検体（成分・体細胞）、200円/検体（細菌）で実施。

総検体数は208千検体（計画比96.9%）、検査料収入は約50,037千円（前年実績比97.6%）となり、検査委託料、検査機器類の減価償却費、検査消耗品、検体輸送料等、検査機器更新の積立金に充当した。

○牛乳消費拡大地域活動

牛乳消費喚起対策事業「MILK JAPAN」に、中央と連携して取り組んだ。また、四国域内での広い範囲での活動普及を図るため、地域活動費の一部を会員団体に助成し、一体となってイベント等の事業を展開。

○酪農教育ファーム活動

認証牧場9戸の各牧場で酪農体験会や出前授業などを実施し、子ども達や一般消費者を対象に、酪農の理解醸成活動を実施している。また、（一社）中央酪農会議の「平成24年度酪農教育ファーム地域活動推進支援事業」を活用し、学校側に体験料や教材費、バス賃借料の経費助成を実施した。

○補助事業の事務の実施

加工原料乳生産者補給金の交付事務、加工原料乳等生産者経営安定対策事業、チーズ向け生乳供給安定対策事業の3つの事業を実施し、会員・農協を通じて、生産者に助成金等を交付。

～貸借対照表～

平成25年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	1,600,424	I 流動負債	1,454,409
(預金)	(255,412)	(未払金等)	(1,444,558)
(未収金等)	(1,360,270)	(法人税等)	(8,320)
(貸倒引当金)	(△15,258)	(未払消費税)	(1,531)
II 固定資産	4,105	II 固定負債	42,788
(有形固定資産)	(517)	負債の部合計	1,497,197
(無形固定資産)	(510)	I 純資産	107,332
(外部出資)	(3,078)	純資産の部合計	107,332
資産の部合計	1,604,529	負債及び純資産合計	1,604,529

～損益計算書～

平成24年4月1日～平成25年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業総利益	50,140
(事業収益)	(14,225,862)
(事業費用)	(14,175,722)
事業総利益	50,140
II 事業管理費	54,280
事業損失	4,140
III 事業外収益	141,069
IV 事業外費用	121,472
経常利益	15,457
V 特別損失	2,070
税引前当期利益	13,387
法人税等 ※	8,320
当期剰余金	5,067
繰越剰余金	2,265
利益準備金	1,000
当期末処分剰余金	6,332



※法人税等：検査機器更新積立（24年度積立額13,240千円）は、利益からの有税積立となるため、税務上必要な額となっています。

新体制について

1. 役員名簿（25年度）

役職	氏名	所属団体
代表理事会長	柳 瀬 一 範	高知県酪農連合協議会 顧問
副会長理事	原 浅 之	徳島県酪農業協同組合 代表理事組合長
代表理事常務	菊 川 時 彦	四国生乳販売農業協同組合連合会
理事	宮 武 利 弘	香川県農業協同組合 経営管理委員会会長
理事	河 野 仁	愛媛県酪農業協同組合連合会 副会長理事
理事	土 居 正 明	全国農業協同組合連合会高知県本部 県本部長
理事	古茂田 忠 典	愛媛県酪農業協同組合連合会 常務理事
代表監事	大久保 敏 之	香川県農業協同組合 経営管理委員
監事	正 木 孝 則	徳島県酪農業協同組合 副組合長理事

2. 退任役員

山下 信良（代表理事会長） 和氣 茂太（代表監事）
 藤丸 清美（理事） 合田 政光（理事）
 山田 博文（理事） 田窪 雅史（理事）

3. 生乳受託販売委員名簿（25年度）

区分	氏名	所属団体等
会 長	柳 瀬 一 範	四国生乳販連 代表理事会長
連合会の役員	原 浅 之	四国生乳販連 副会長理事
連合会の役員	大久保 敏 之	四国生乳販連 代表監事
連合会の役員	古茂田 忠 典	四国生乳販連 理事
徳島県の区域	片 岡 寛 之	徳島県酪農協 副組合長理事
//	高 瀬 敏	徳島県酪農協 理事
//	向 将 勝	徳島県酪農協 代表監事
香川県の区域	赤 松 省 一	香川県生乳受託販売推進協議会 議長
//	佐々木 英 樹	香川県生乳受託販売推進協議会 委員
//	資 延 正 博	香川県生乳受託販売推進協議会 委員
愛媛県の区域	山 本 英 司	愛媛県酪農経営者協議会 会長
//	永 市 正 明	愛媛県酪農経営者協議会 副会長
//	平 田 将 三	愛媛県酪農経営者協議会 副会長
高知県の区域	岡 本 泰 明	高知県酪農連合協議会 会長
//	桑 鶴 精 二	高知県酪農連合協議会 副会長
//	宮 本 文 弘	高知県酪農連合協議会

25年度乳価交渉 飲用向け5円値上げで決着

I 酪農・乳業をめぐる情勢

- (1) 都府県の指定団体は、1月から輸入粗飼料及び配合飼料価格の値上がりを背景に、6円から7円以上の大幅値上げ（四国は6円以上）を申し入れ、交渉を進めた。為替の円安進行によるコスト上昇により、自給飼料基盤の脆弱な酪農経営は一層厳しさを増している。また、TPP交渉参加等の将来不安もあり、規模拡大など増産意欲を阻害することが危惧される。
- (2) 大手乳業者を中心に酪農経営の窮状については理解しているが、飲用牛乳市場を巡る情勢は厳しく、大幅値上げを実施すれば牛乳販売に影響し、需給が緩和するとの考えが根強い。
- (3) 市場環境が厳しい中、価格転嫁を求めるのであれば、生産者及び生産者組織の努力も必要、円安は国策が大きな原因であり、生産者として国に要望すべき点もあるのではないかとの指摘もある。

II 大手乳業者の主な乳価値上げの回答

乳業者の表現等については多少異なるが、内容的には同様の水準です。

- (1) 飲用向け5円/kg値上げ。
- (2) 値上げの根拠は、餌コスト（配合・粗飼料）。
24年度実績と25年度上半期実績の対比を基本として算出。
- (3) 値上時期は、価格転嫁をしなければ社内で吸収できない水準であり、製品の価格転嫁に3ヶ月程度時間を要するため、10月1日から値上げ実施。
- (4) 対象期間は、25年10月1日から1年間。
- (5) 生産者のご理解を頂き、引き続き、生乳の安全・安心の確保に係る対応等、良質乳の生産にご理解とご協力を頂きたい。

III 今後の対応等

- (1) 26年4月からの消費税引き上げにより、末端価格の引き上げが想定されていることから、25年度取引乳価引き上げによる流通への価格転嫁は、消費への影響が避けられないと認識しているが、遡及対応が困難であることや酪農経営が厳しさを増す中で一刻も早い交渉決着を図ることが重要。
- (2) 乳業者が努力して価格転嫁を実施するとして、①生産者側から酪農経営の窮状を背景に原料乳価格の引き上げが必要であること、②消費者に安定的に牛乳を供給するためには牛乳価格の値上げが必要であることへの世論の理解を促進させる関連情報を公表する等、中央酪農会議においてマスコミ及び流通関係者等への理解醸成活動を展開する。
- (3) 当連合会は、四国4県の地方新聞（約94万部）に世論の理解醸成を促進させる広告掲載を値上げ前の9月上旬・中旬の2回にわたり展開する。
- (4) 第2回理事会（6月16日）及び第49回受託販売委員会（7月7日）での協議、第3回理事会（7月30日）でのご承認を踏まえ、最大手乳業者の回答を基礎として、当連合会の全ての取引乳業者を対象に同一条件での早期決着を図って参ります。



7月までの乳価

(単位:kg,円)

	受託乳量	販売金額 (成分加算金含まず)	プール乳価	前年差	成分加算金 平均単価	平均 受取単価
4月	11,596,240	1,203,203,966	103.76	+1.28	1.24	105.00
5月	11,862,818	1,256,154,996	105.89	+0.02	1.12	107.01
6月	10,910,492	1,173,045,728	107.52	+0.05	0.97	108.49
7月	10,529,065	1,122,345,160	106.59	+0.05	0.83	107.42
累計	44,898,615	4,754,749,850	105.90	+0.36	1.05	106.95

加工原料乳等生産者経営安定対策事業について

独立行政法人農畜産業振興機構より、平成24年度平均取引価格及び平成25年度補填基準価格についての通知がありました。平成25年度の生産者拠出金単価と合せて、以下のとおりお知らせ致します。

平成24年度加工原料乳平均取引価格	75.10円/kg
平成25年度加工原料乳補填基準価格	72.14円/kg
平成24年度チーズ向け生乳平均取引価格	50.48円/kg
平成25年度チーズ向け生乳補填基準価格	47.30円/kg
平成25年度生産者拠出金単価	0.25円/kg

平成24年度乳質改善共励会の結果報告

日頃より、良質乳の生産にご尽力いただき、ありがとうございます。

平成24年度から、各県会員団体で実施している乳質改善共励会に協賛し、以下のとおり、各県最優秀賞受賞者に対して、「四国生乳販連会長賞」の賞状及び副賞10万円を授与いたしました。

良質乳生産に対して深謝いたしますとともに、今後も高品質かつ安全・安心な生乳生産を通じ、当連合会の生乳販売業務への一層のご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

	表彰日	最優秀賞受賞者
徳島県	6月26日	井上 泰一
香川県	7月31日	永崎 博之
愛媛県	3月9日	篠藤 敬一
高知県	3月27日	小谷 恵

ポジティブリスト制度に対応した酪農乳業の一体的な取組み

～消費者からの信頼を確保するための品質管理システム～

社団法人日本酪農乳業協会「改めて確認しよう！ポジティブリスト制度について」引用

1 ポジティブリスト制度に対応するために

酪農乳業としてポジティブリスト制度に対応するためには、出荷・輸送・製造・販売・流通段階で農薬等が基準値を超えていないことが求められます。そのために、使用している全農薬等が基準値を超えて残留していないことを証明することが必要です。このため、酪農乳業が一体となって効率的な品質管理システムを構築して、消費者の信頼を確保していこうとしています。

2 品質管理システムとは

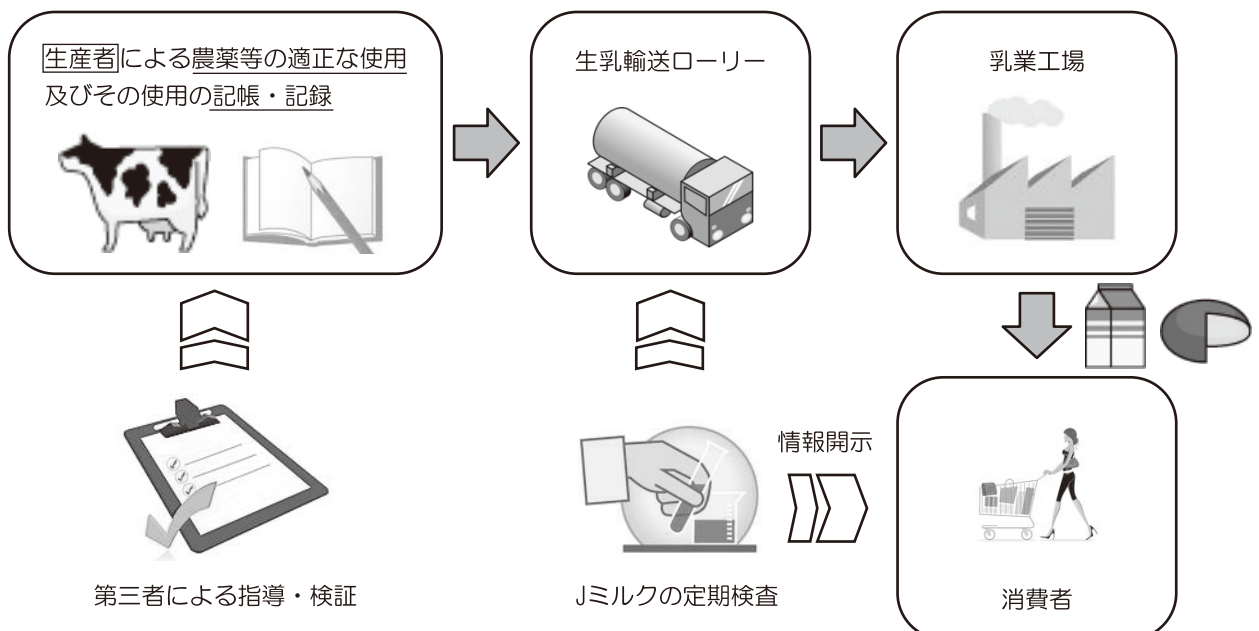
消費者の信頼を確保する品質管理システムの基準は、HACCP的手法に基づいた効率的な取組みであることを重視しています。すなわち、生乳に農薬等が残留しない生産・管理システムを構築すること、並びに、この管理システムが確実に機能していることを定期的に点検することを通じ、システムの有効性を確保し、消費者に信頼される体制を構築しています。

この品質管理システムは、次の3点を基本としています。

- ①生乳生産者は、使用する農薬等の使用基準を遵守して安全を確保すると共に、その使用実態を記帳・記録する。
- ②酪農乳業関係者は、生乳生産者の使用する農薬等の適正な使用とその記帳・記録について指導・検証する体制を構築し、安全をさらに確保する。〔地域における「支援組織」（生乳生産者団体、乳業者、その他関係者で構成する第三者）による指導・検証〕
- ③酪農乳業界は、「農薬等の適正な使用とその記帳・記録」「第三者による指導・検証」等が的確に機能していることを確認するため、定期的に残留に係る調査・検査を実施する。

3 酪農乳業の一体的な取組み

これらについて酪農乳業が一体となって取組み、農薬等の使用実態・検査結果等の情報は、一般社団法人Jミルクに集約し、酪農乳業界の共有情報として活用するほか、消費者に情報開示をしています。



平成25年度の生乳需給をめぐる情勢（7月まで）

1. 平成25年度7月までの受託販売実績（生乳生産）の動向

（1）全国

- 7月までの累計の生産動向（受託乳量）は、北海道1,308千トﾝ（前年比100.7%）、都府県1,196千トﾝ（同98.6%）、全国2,504千トﾝ（同99.7%）と、好調な北海道に対し都府県の数字が低調である。

（2）四国

- 7月末までの累計で、44,842トﾝ（前年比98.0%）。
- 県別では、徳島12,295トﾝ（同98.8%）、香川11,940トﾝ（同98.5%）、愛媛12,894トﾝ（同96.7%）、高知7,713トﾝ（同97.9%）。

全国・北海道・都府県と四国の受託販売実績

単位：トﾝ・%

会員団体	4月		5月		6月		第1四半期合計	
		前年比		前年比		前年比		前年比
北海道	321,241	101.5	335,449	101.5	326,603	101.2	983,293	101.4
都府県	306,814	99.3	313,407	99.1	291,246	98.3	911,467	98.9
全 国	628,055	100.4	648,856	100.3	617,849	99.8	1,894,760	100.2
四 国	11,580	97.7	11,847	98.2	10,898	98.2	34,325	98.0
徳島県	3,138	98.2	3,247	98.7	3,019	100.6	9,404	99.1
香川県	3,088	99.1	3,176	99.1	2,913	98.1	9,177	98.8
愛媛県	3,379	97.9	3,397	97.0	3,096	96.0	9,872	97.0
高知県	1,975	94.8	2,026	97.8	1,870	98.1	5,871	96.8

会員団体	7月		累計	
		前年比		前年比
北海道	324,479	99.8	1,307,772	100.7
都府県	284,887	97.8	1,196,354	98.6
全 国	609,366	98.3	2,504,126	99.7
四 国	10,517	97.8	44,842	98.0
徳島県	2,890	98.0	12,295	98.8
香川県	2,763	97.6	11,940	98.5
愛媛県	3,022	95.7	12,894	96.7
高知県	1,842	101.3	7,713	97.9



※四捨五入の関係上、合計値が一致していないことがあります。

※都府県・全国の前年比は、アウト・イン修正した数字です。

※四国の実績につきましては、公共分乳量が含まれていません。

2. 四国の用途別販売実績の動向

- 7月までの累計で、飲用等向けは41,821ト(前年比99.7%)とほぼ前年並み、特定乳製品向け(加工向け)は2,252ト(前年比74.8%)と大幅に減少している。
- 用途別比率は、飲用等向け(飲用向け+学乳向け+はっ酵乳等向け)が93.1%、特定乳製品向け(加工向け)が5.0%。

単位：ト・%

用途	4月		5月		6月		第1四半期		用途別比率
		前年比		前年比		前年比		前年比	
飲用向け	9,295	101.8	9,842	98.3	9,482	99.7	28,619	99.9	83.3
学乳向け	337	106.3	498	98.1	461	92.5	1,296	98.0	3.8
はっ酵乳等向け	556	98.4	590	95.9	599	99.3	1,745	97.9	5.1
飲用等向け	10,188	101.8	10,930	98.2	10,542	99.3	31,660	99.7	92.1
特定乳製品向け	1,216	73.7	730	99.7	155	52.5	2,101	78.4	6.1
生クリーム向け	169	97.8	179	92.6	191	108.0	539	99.3	1.6
チーズ向け	7	43.5	8	62.7	9	68.4	24	56.6	0.1
公共向け	16	133.0	16	109.4	13	94.6	45	111.4	0.1
総受託乳量	11,596	97.7	11,863	98.2	10,910	98.2	34,369	98.0	100.0

用途	7月		累計		用途別比率
		前年比		前年比	
飲用向け	9,268	99.7	37,887	99.8	84.4
学乳向け	324	98.3	1,620	98.0	3.6
はっ酵乳等向け	569	97.9	2,314	97.9	5.2
飲用等向け	10,161	99.5	41,821	99.7	93.1
特定乳製品向け	151	45.5	2,252	74.8	5.0
生クリーム向け	196	96.3	735	98.4	1.6
チーズ向け	9	69.3	33	59.5	0.1
公共向け	12	105.3	57	110.1	0.1
総受託乳量	10,529	97.8	44,898	98.0	100.0



牛乳でつくろう！病気に強い体

牛乳は、高血圧が招くリスクからあなたをしっかりと守ります！



**30歳以上の日本人は、
2人に1人が高血圧***

高血圧の主な原因は、塩分の多い食習慣や肥満など。ヘルシーとされる和食ですが、漬物やみそ汁など、塩分の摂りすぎには十分な注意が必要です。

*平成22年国民健康・栄養調査
(厚生労働省)

高血圧を放っておくと、危険な病気のリスクが増加

高血圧は、ほとんど自覚症状がありません。しかし放置していると、年齢とともに動脈硬化がすすみ、心臓の負担も増えて心疾患や脳卒中など重篤な病気のリスクが高まります。



カルシウム だけじゃない 牛乳パワー

たんぱく質、脂質、糖質の3大栄養素を含む牛乳。理想的な栄養バランスで、健康な体づくりをサポートします。



「毎日牛乳」を習慣づけて 高血圧予防に取り組みましょう！

牛乳に含まれるカルシウムなどのミネラルには、血圧を上げる塩分を体から出して、血圧を安定させる効果があります。また、牛乳と血圧の関係を調べた調査でも、牛乳摂取が多いグループほど血圧が低いという結論が。毎日の牛乳摂取を習慣づけて、高血圧を予防しましょう。

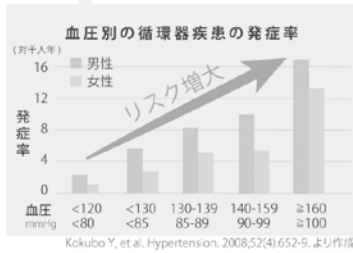
高血圧症有病者：収縮期血圧(最高血圧)140mmHg以上、または拡張期血圧(最低血圧)90mmHg以上

万病の元「高血圧」を防ぐ牛乳パワー!

1 脳卒中などのリスクが高まる高血圧

血圧が高いと、脳卒中や心不全など、循環器疾患になる率が高くなります。

もともと血圧が高いグループはリスクが**8倍!**



高血圧が招くさまざまな病気

寝たきりの原因にも...

脳卒中

認知症

動脈瘤

心臓病

腎臓病



3 実はミネラル不足も高血圧の要因

高血圧は、カリウム、カルシウム、マグネシウムなどのミネラル不足も関係します。これらをバランスよくしっかり摂ることが大切です。

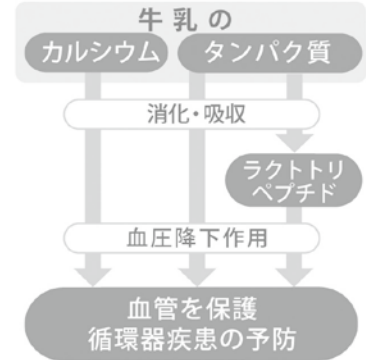
塩分排泄作用のあるカリウムを多く含む野菜や果物



カルシウムの吸収率が高い牛乳

4 牛乳の摂取で高血圧リスクを低減

そのメカニズムは……



監修 / 国立循環器病研究センター 生活習慣病部門長 高血圧・腎臓科部長 日本高血圧学会 減塩委員会委員長 河野雄平

2 日本人は塩分の摂りすぎ

日本人の塩分摂取量は1日約10g。望ましい量は男性9g、女性7.5g未満なので、まだまだ減らす必要があります。

日本高血圧学会の推計では

塩分摂取量 **2~3g 減**

最高血圧 **2 mmHg 低下**

国民の循環器疾患の死者 **2万人 減少**



◎話題のおいしい減塩レシピで、あなたも今日から減塩ライフ!

『国循の美味しい! かるしおレシピ』

国立循環器病研究センター著 セブン&アイ出版 1,800円 (税別)

1食、塩分2g未満。驚異的に少ない塩分量にもかかわらず、「国循の病院食は美味しい」と話題になった「かるしおレシピ」を家庭向けにアレンジ。



『目からウロコの美味しい減塩 乳和食』

小山浩子著 中村丁次監修 主婦の友社 1,100円 (税別)

牛乳と和食が出会うとおいしさが倍増! 減塩だけでなくカルシウムやタンパク質もたくさん摂れる、「ミルクマジック」による画期的な乳和食のご紹介。

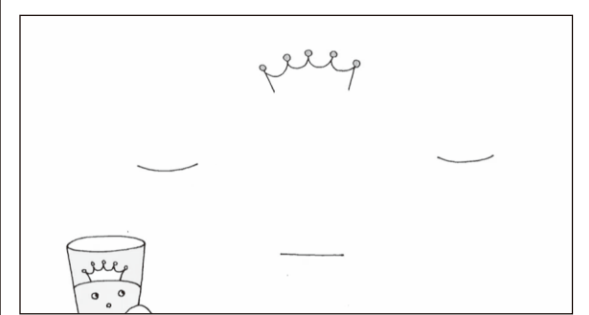


四国生乳販連・行事だより

会議名		協議内容・報告事項
開催月日	場所	
第49回生乳受託販売委員会		<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度生乳取引交渉 生乳販売業務における課題等 生乳受託販売委員会運営規則の変更
7月7日	アルファあなぶきホール 5F 玉藻	
役員推薦会議		<ul style="list-style-type: none"> 役員候補者の件
7月19日	四国生乳販連 会議室	
第13回通常総会		<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度事業報告及び剰余金処分案承認 役員の選任 役員に対する退任慰労金支出並びに慰労積立金の取り崩し
7月30日	アルファあなぶきホール 5F 玉藻	
第2回監事会		<ul style="list-style-type: none"> 代表監事の選任 退任役員慰労金の支出方法等
7月30日	アルファあなぶきホール 5F 玉藻	
第3回理事会		<ul style="list-style-type: none"> 会長、副会長、常務の選任 代表理事の選任 一般社団法人中央酪農会議理事並びに生乳受託販売委員の選任 退任役員慰労金の支出の件 理事の順位 平成25年度生乳取引交渉 生乳受託販売委員会運営規則の変更
7月30日	アルファあなぶきホール 5F 特別室	



TVCM「おねがいMILK GOD」は、
ミルクゴッド様が
ゆる〜く人間界のお悩みを解決中♪
ぜひご覧ください！





毎週月曜日朝7:30頃
日本テレビ系列朝の情報番組「ZIP」内で
放送中！